

ご挨拶

コロナ禍が相変わらずで、すべての分野に閉塞感が漂う昨今ですが、参禅会の皆様にはお变りないことと存じます。私はお陰様で身心ともに健在で消光の日々であります。それと、こんな時期でもない出来ないという思いのもとに、新しく大きな刊行物の仕事、および6月7日から始まる永平寺眼蔵会提唱の準備に日夜努力しております。

永平寺といえば、去る4月2日に第80代の猊座につかれた南澤道人新貫主（93歳）は、「自肅とは、規則正しい生活を送ることである」と喝破されました。

たしかに私たち仏教徒は、現今のような困難な時期こそ衣食住すべてに亘って身を引締め規律正しい生活を習慣づければ、己と周辺の人々を幸せにするチャンスだ、と受けとめての精進が必要であります。皆様！ともに歩みともに精進いたしましょう。

“いたずらに過ごす月日は多けれど道を修める時ぞ少なし”

2021年5月10日

龍泉院 東堂 椎名 宏雄 九拜